

中国産業概観

【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

2023年1月

みずほ銀行(中国)有限公司

中国アドバイザー一部

MIZUHO

瑞穗銀行

中国自動車業界レポート(2022年12月)

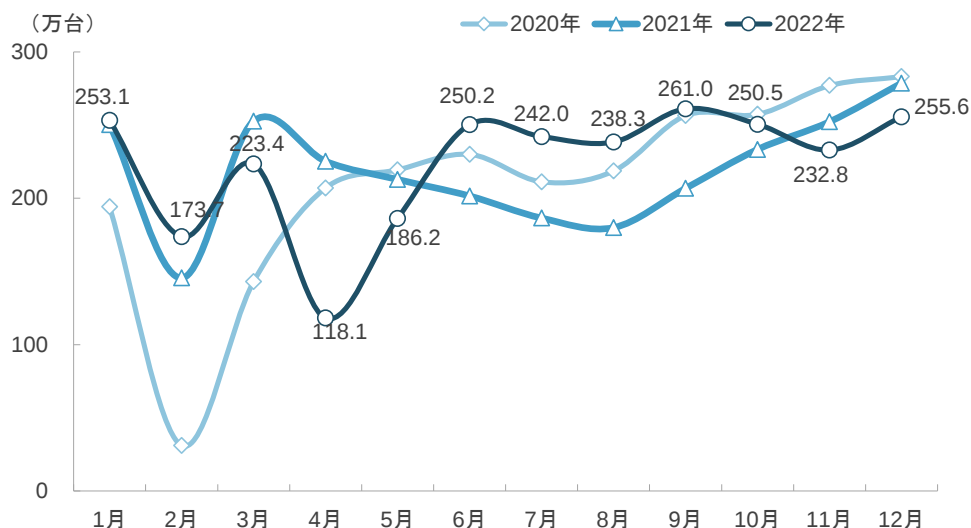
- 1 自動車販売台数
 - 1.1 自動車生産・販売台数2
 - 1.2 乗用車市場3-5
 - 1.3 高級車市場6
 - 1.4 商用車市場7
 - 1.5 日系三強8
 - 1.6 NEV 9-12
 - 1.7 輸出 13
- 2 在庫動向 14
- 3 新発売のモデル 15
- 4 業界動向 16
- 5 中古車市場 17
- 6 BYD 18

1.1 自動車販売台数

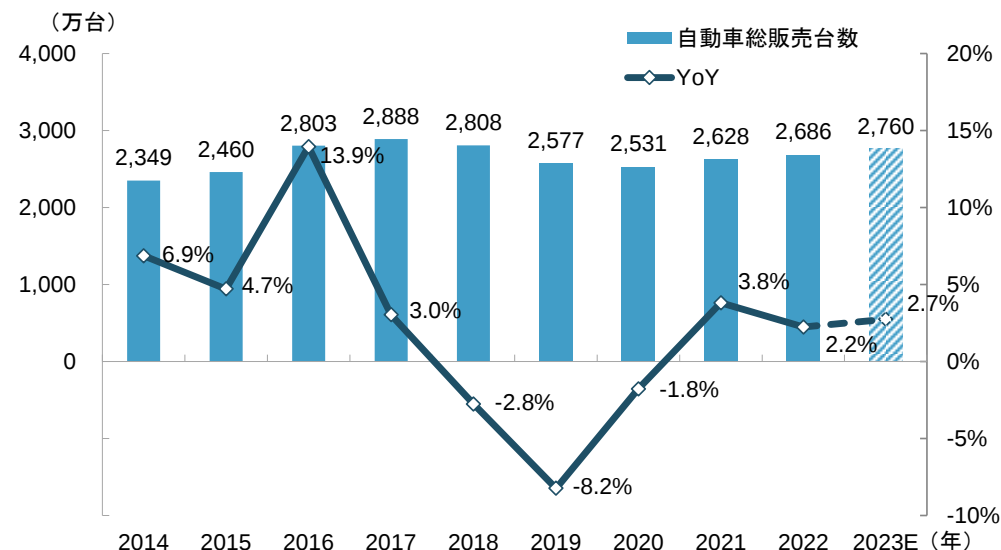
【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- **生産・販売台数は小幅増**: 2022年はCovid-19の頻発、チップ不足、電池原材料価格の高騰など不利な要素が重なったものの、中央政府による購入税減免やNEV補助金などの一連の成長安定、消費促進策が後押ししたことで、中国自動車市場は全体的に回復、前年比増を実現した。2022年の中国自動車生産台数は前年比3.4%増の2,702.1万台、販売台数は同2.1%増の2,686.4万台。2021年比では伸び幅は小幅縮小した。12月単月での自動車販売台数は前年同月比8.4%減、前月比9.7%増の255.6万台と年度最終月の伸びを見せた。
 - ✓ 乗用車: 2022年通年の販売台数は前年比9.5%増の2,356.3万台。12月単月の販売台数は前年同月比6.7%減の226.5万台。
 - ✓ 商用車: 2022年通年の販売台数は前年比31.2%減の330万台。12月単月の販売台数は前年同月比20.2%減の29.1万台。
- **自動車工業経済効果**: 2022年1-11月、中国自動車製造業売上高は前年同期比8.1%増の8兆3,726.1億元と同期間の製造業より2.9pt高い伸びとなった。税前利益は同0.3%増の4,763億元、自動車製造業工業付加価値額は同7.7%増と、同期間の製造業より4.4pt上回った。11月単月での自動車製造工業付加価値額は前年同月比4.9%増と、同期間の全国規模以上工業付加価値額を2.7pt上回っている。

中国自動車月次販売台数(2020-2022)



中国自動車年度別販売台数(2014-2023)



出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場①

【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- **12月販売台数ランキング**: 2022年12月の中国乗用車小売台数は216.9万台、うちTop15社の販売台数合計は前年同月比12.5%増と伸び幅は前月比拡大。BYDの販売台数は2倍以上の伸びを維持、上汽GM五菱は大幅減となった(-30.0%)。
- **2022年販売台数ランキング**: 乗用車企業Top15社のうち、販売台数が前年比増となったのは6社。うちBYDは前年比149.4%増と2022年の中国乗用車企業販売台数トップ。その他9社は前年比減、特に東風日産は大幅減となった(-20.9%)。

乗用車メーカー小売販売台数Top15

No.	メーカー	2021.12 (万台)	2022.12 (万台)		
			前年同月比	市場シェア	
1	BYD	9.78	22.37	128.7%	10.3%
2	一汽VW	15.62	18.04	15.5%	8.3%
3	長安汽車	7.16	16.77	134.4%	7.7%
4	上汽VW	14.05	14.39	2.4%	6.6%
5	吉利汽車	14.16	12.65	-10.7%	5.8%
6	上汽GM	10.30	11.10	7.7%	5.1%
7	一汽トヨタ	10.61	10.25	-3.5%	4.7%
8	広汽トヨタ	10.01	10.02	0.2%	4.6%
9	奇瑞汽車	6.90	8.24	19.4%	3.8%
10	上汽GM五菱	11.05	7.74	-30.0%	3.6%
11	広汽ホンダ	8.15	7.04	-13.6%	3.2%
12	東風ホンダ	8.77	6.81	-22.3%	3.1%
13	東風日産	11.41	6.67	-41.6%	3.1%
14	広汽伝祺	4.46	6.57	47.3%	3.0%
15	華晨BMW	3.88	5.95	53.2%	2.7%
Top15 合計		146.31	164.61	12.5%	75.9%

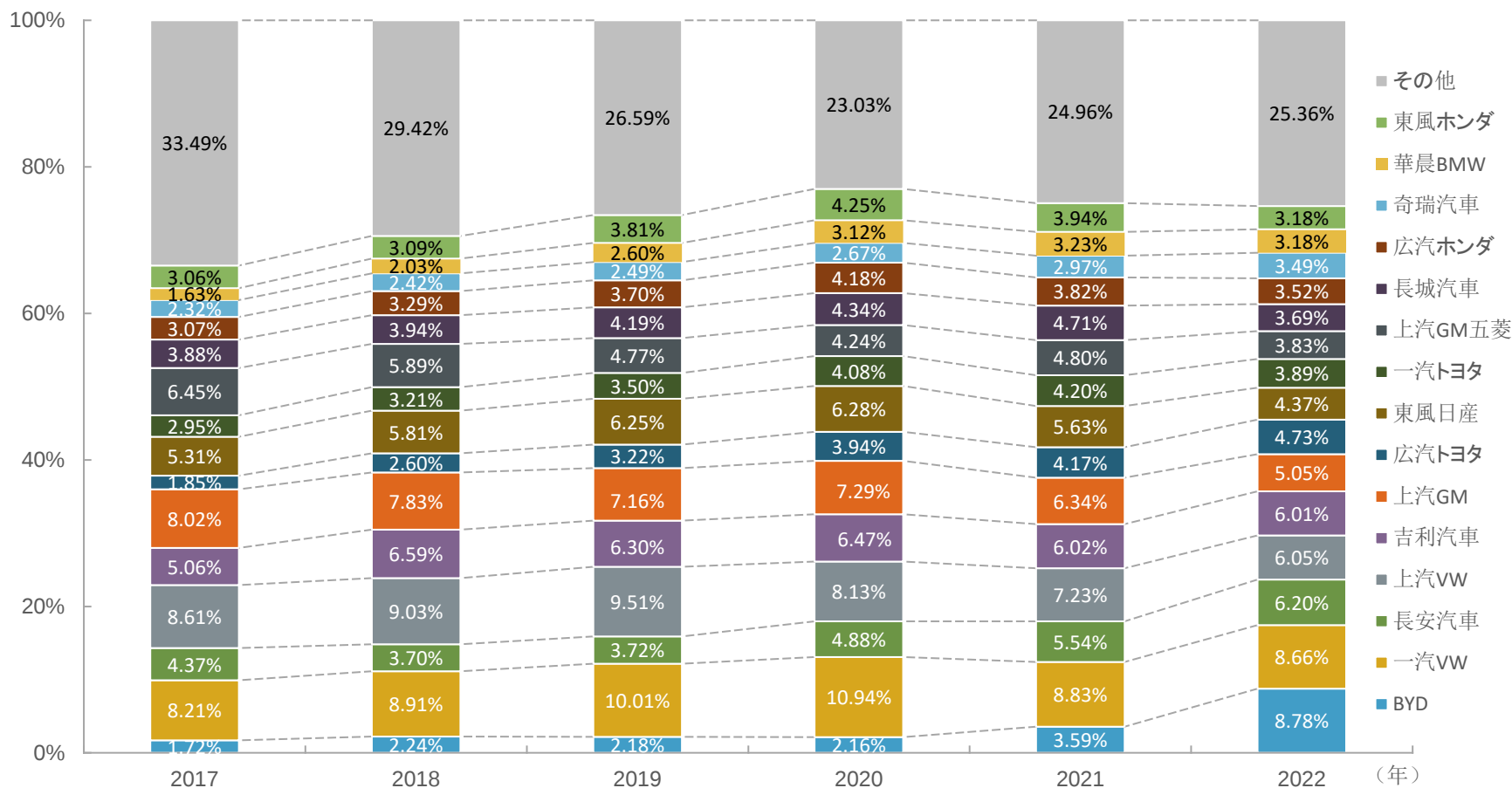
No.	メーカー	2021.1-12 (万台)	2022.1-12 (万台)		
			前年比	市場シェア	
1	BYD	72.37	180.46	149.4%	8.8%
2	一汽VW	177.84	177.91	0.0%	8.7%
3	長安汽車	111.60	127.42	14.2%	6.2%
4	上汽VW	145.71	124.35	-14.7%	6.1%
5	吉利汽車	121.30	123.47	1.8%	6.0%
6	上汽GM	127.73	103.69	-18.8%	5.0%
7	広汽トヨタ	84.04	97.15	15.6%	4.7%
8	東風日産	113.49	89.79	-20.9%	4.4%
9	一汽トヨタ	84.63	79.93	-5.6%	3.9%
10	上汽GM五菱	96.69	78.63	-18.7%	3.8%
11	長城汽車	94.88	75.87	-20.0%	3.7%
12	広汽ホンダ	77.04	72.24	-6.2%	3.5%
13	奇瑞汽車	59.92	71.77	19.8%	3.5%
14	華晨BMW	65.12	65.40	0.4%	3.2%
15	東風ホンダ	79.33	65.24	-17.8%	3.2%
Top15 合計		1,511.70	1,533.31	1.4%	74.6%

出所: 中国汽車流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場②

【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- 中国系のシェアが拡大: 2022年はCovid-19の各地での流行や、部品不足、NEV補助金政策等の影響で、ICE市場は減速、NEV市場が自動車市場の主流となりつつある。一汽VW、上汽VW、上汽GM等の合併系の市場シェアは徐々に縮小、NEV市場ではBYDや長安汽車等がシェアを拡大している。2023年もNEVは売れ続けることから、中国系のシェアはさらに高まると期待される。



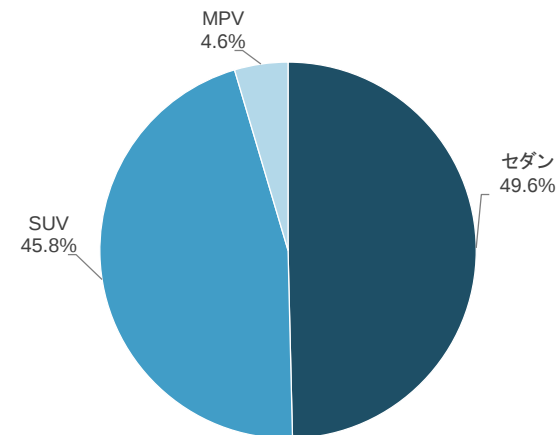
出所: 中国乗用車市場情報联席会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場③

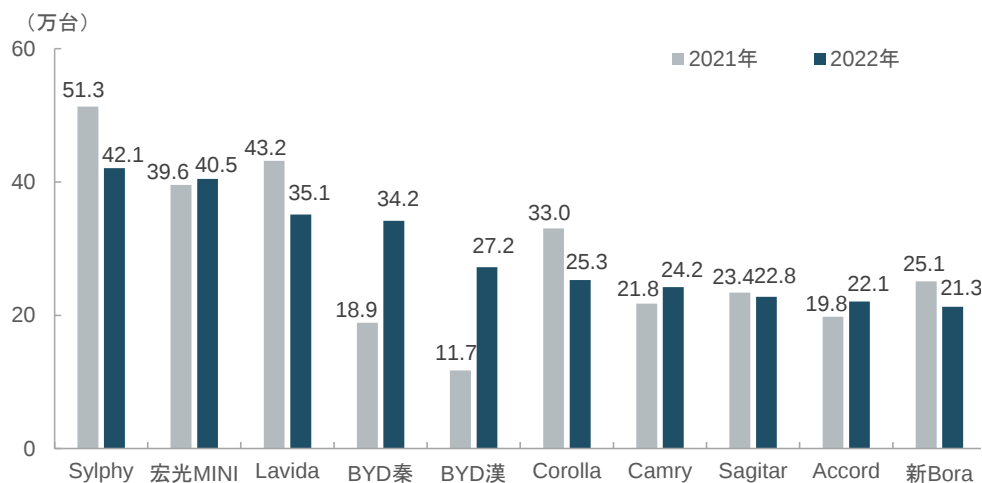
【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- **タイプ別構成比**: ガソリン車購入税優遇及びNEV優遇策の恩恵を受け、中国乗用車市場販売台数は8年連続で2,000万台を突破した。タイプ別ではセダンが49.6%、SUVが45.8%。
- **タイプ別Top10**:
 - ✓ **セダン**: Sylphyが前年比18%減と大きく下げたもののトップを維持。宏光MINIとVW Lavidaがその後を追う形。BYDの秦と漢が第4-5位。Top10の合計販売台数は294.7万台、CR10は28.9%。
 - ✓ **SUV**: BYD宋が47.9万台で2位以下を大きく引き離している。かつてはSUVのトップを独走していた哈弗H6は前年比29.1%減と3位まで順位を下げた。Top10の合計販売台数は228.3万台、CR10は24.3%。Top10のNEV率は42.1%。

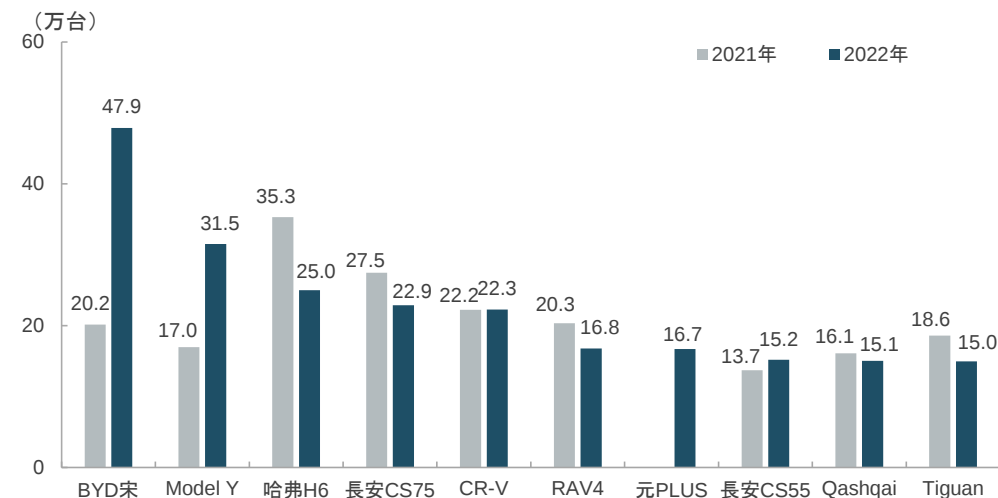
乗用車タイプ別構成比(2022年)



2022年セダン販売台数Top10



2022年SUV販売台数Top10



出所: 中国汽流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.3 高級車市場

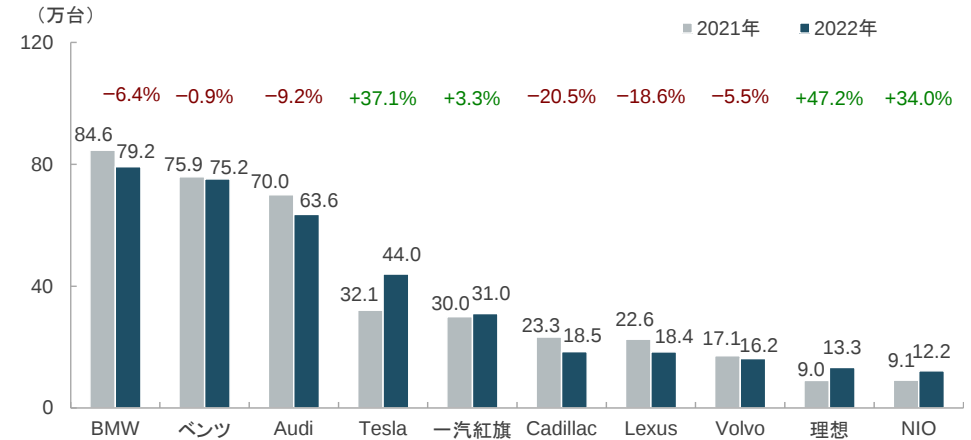
【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- **高級車市場**: 2022年、中国の国産高級車販売は依然としてドイツ系が中心ではあるものの、NEVの台頭により中国系NEV高級車が存在感を高めている。BMW、ベンツ、Audiは今までの成長から一転し前年比減となった一方で、Tesla、理想、NIO等の伸びは続いている。

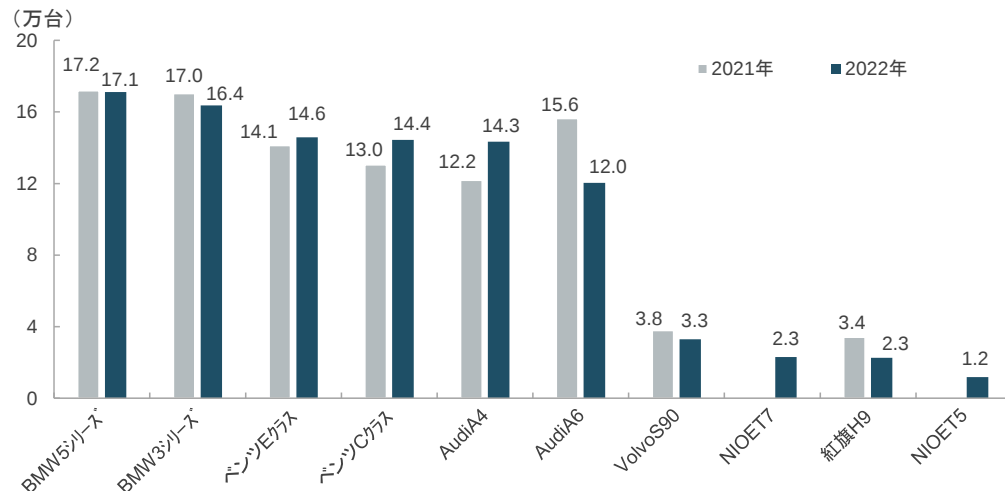
■ タイプ別:

- ✓ **セダン**: Topブランドの市場シェアは短期的には変わらない見通し。BMW5シリーズ、3シリーズはトップにあるものの前年比小幅減。ベンツEクラス、Cクラス及びAudi A4は小幅増。
- ✓ **SUV**: Model Yは前年比85.6%増と独走。理想ONEはベンツGLB、BMW X5等を抜き第5位に。

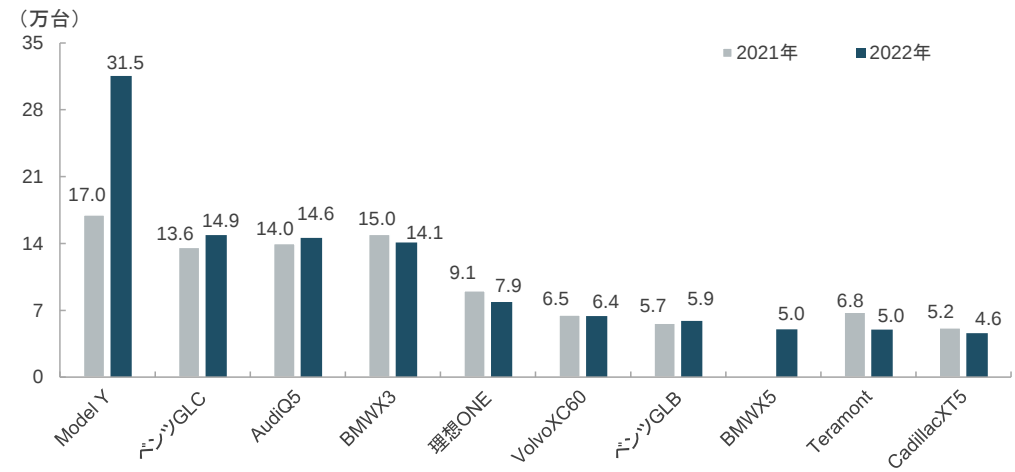
高級車販売台数(2022年、一部)



国産高級セダン販売台数Top10(2022)



国産高級SUV販売台数Top10(2022)



備考: 高級車は市場指導価格30万元以上を指す

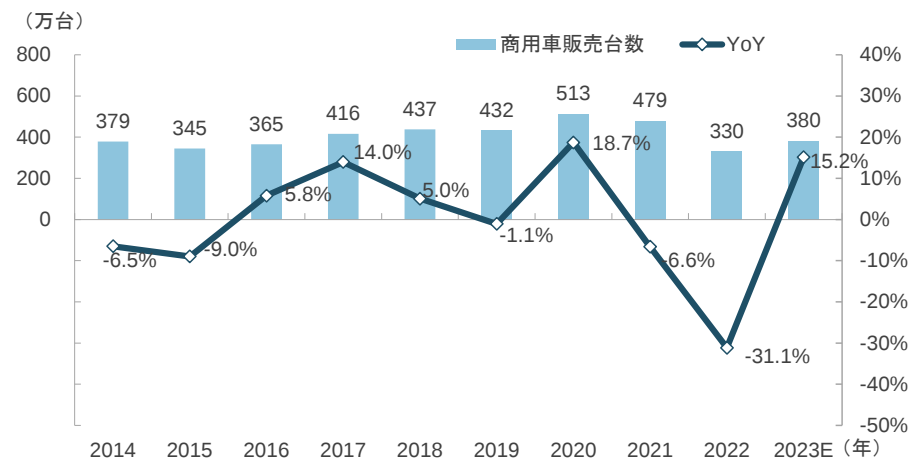
出所: 中国汽车流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.4 商用車市場

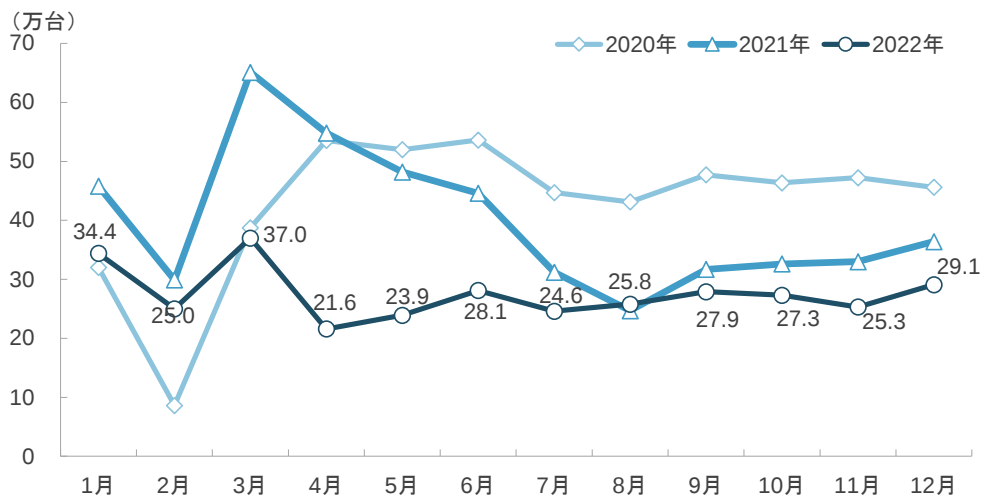
【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- **商用車は低迷が続く**: 2022年、中国商用車販売台数は前年比31.2%減の330万台。Covid-19の再流行や燃料価格の高騰などの影響により需要が低迷。一方で輸出市場は好調で、累計輸出台数は前年比44.9%増の58.2万台。12月単月での商用車販売台数は前年同月比20.2%減、前月比15.2%増の29.1万台。
- **タイプ別**: タイプ別ではトラックが中心。通年のトラック販売台数は前年比32.6%減の289.3万台、バスは同19.2%減の40.8万台。トラック月次ベースでは8月に小幅増となった他はすべて前年同月比減であった。

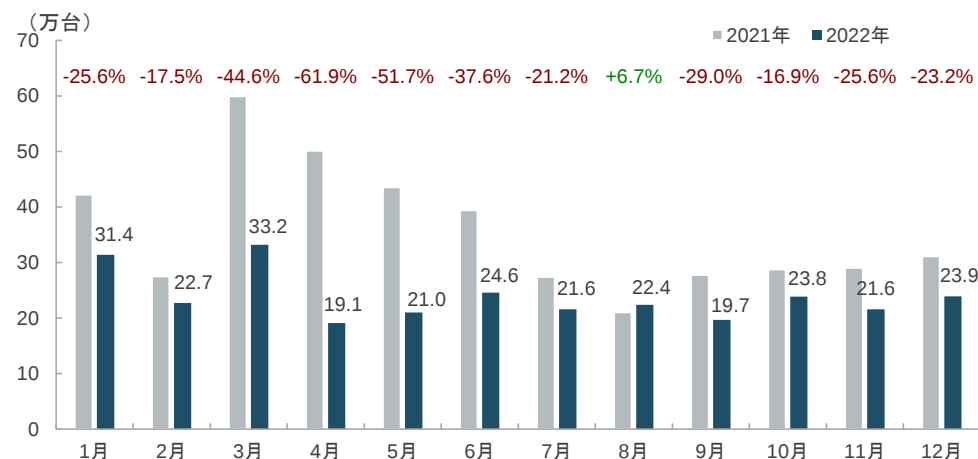
中国商用車販売台数(2014-2023)



中国商用車月次販売台数(2020-2022)



トラック月次販売台数(2021-2022)



出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

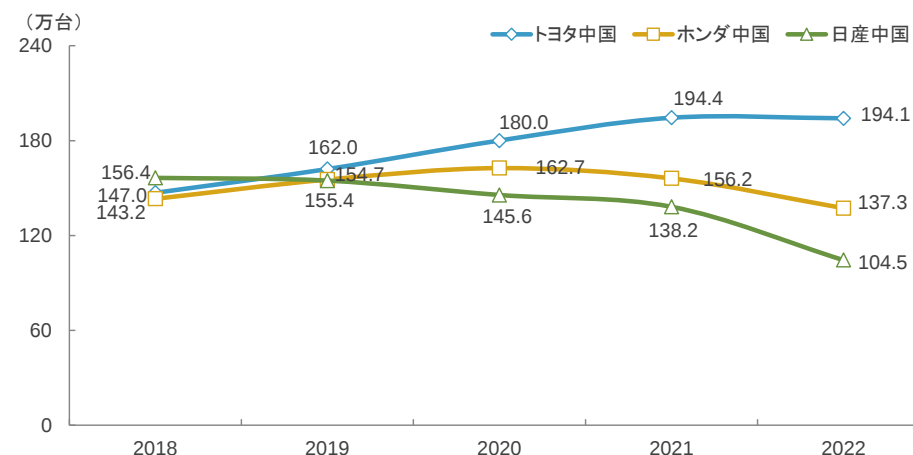
1.5 日系三強

【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

■ 日系三強: Covid-19の再流行や部品不足などの影響により、2022年日系OEMの販売台数も軒並み減となった。

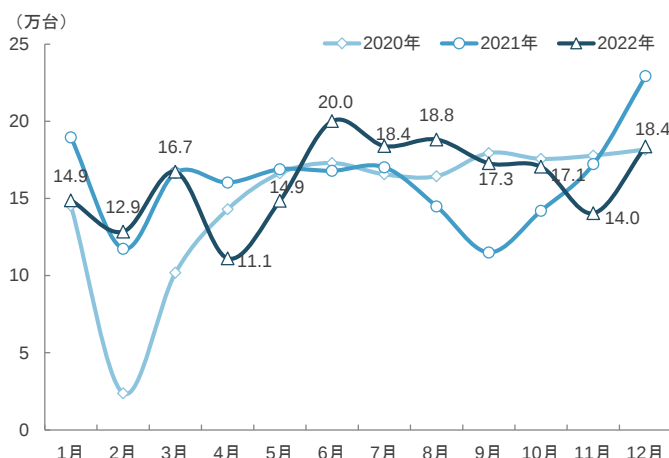
- ✓ **トヨタ中国**: 12月の販売台数は前年同月比19.8%減の18.37万台。2022年通年の販売台数は前年比0.2%減の194.06万台。うち広汽トヨタは同22.6%増、Lexusは同18.6%減。トヨタ中国にとってはこの10年で初の減速となった。
- ✓ **ホンダ中国**: 12月の販売台数は前年同月比17.9%減の13.85万台。2022年通年の販売台数は前年比12.1%減の137.31万台。うちAccord、CR-Vはともに20万台を超えた。電動タイプの2022年販売台数は23.12万台(HV、PHEV、BEVを含む)。
- ✓ **日産中国**: 12月の販売台数は前年同月比47.3%減の7.05万台。2022年通年の販売台数は前年比24.3%減の104.52万台。販売台数は8年連続で100万台を突破。2023年はe-power X-TRAIL、e-power Sylphyなどを発売する予定。

日系三強の販売台数推移(2018~2022)

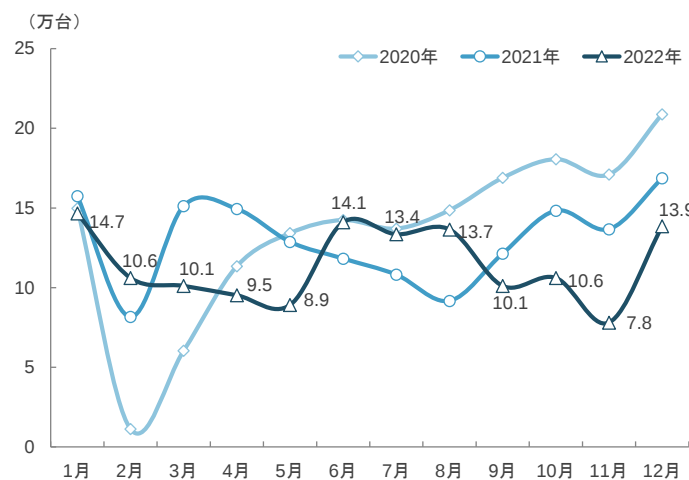


日系三強月次販売台数(2020-2022年)

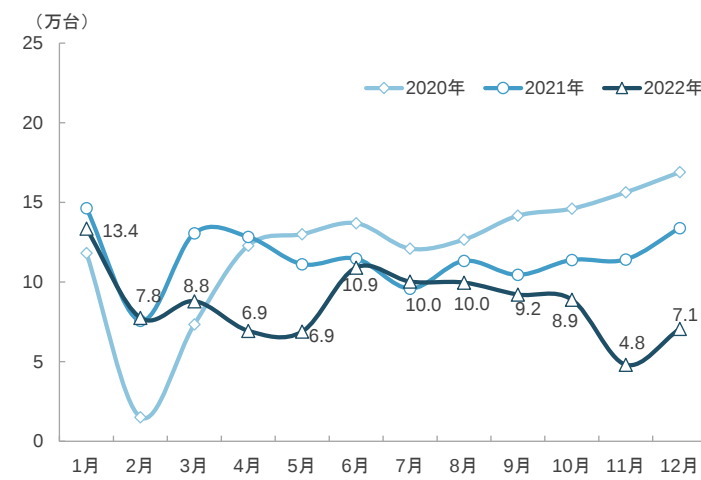
TOYOTA



HONDA



NISSAN



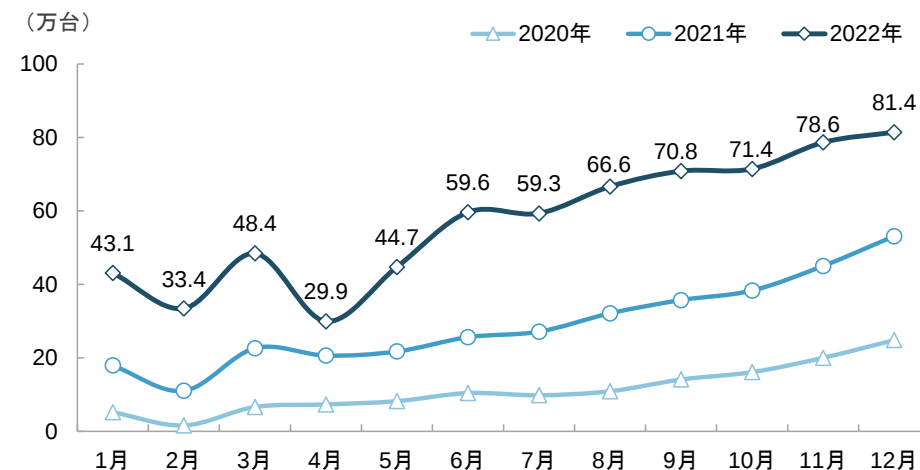
出所: 新浪自動車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.6 NEV①

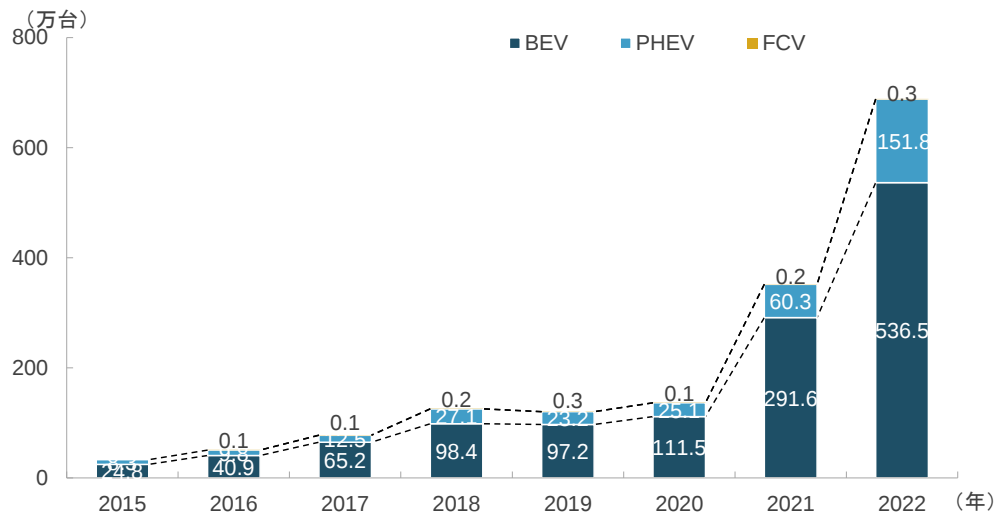
【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- **高成長を維持**: 12月の中国NEV生産台数は79.5万台、販売台数は81.4万台、共に前年同月比51.8%増となった。うちBEV販売台数は62.4万台、PHEVは18.9万台、FCVは400台。
- **年度販売台数**: 2022年、中国NEV販売台数は前年比93.4%増の688.7万台、8年連続で世界第1位。うちBEVは同81.6%増の536.5万台とNEV総販売台数の77.9%、PHEVは同2.5倍の151.8万台と大きく伸びた。
- **NEV比率**: 12月、新車販売台数に占めるNEV比率は31.8%、前月比1.9pt低下。2022年通年では25.6%と同12.2pt拡大。

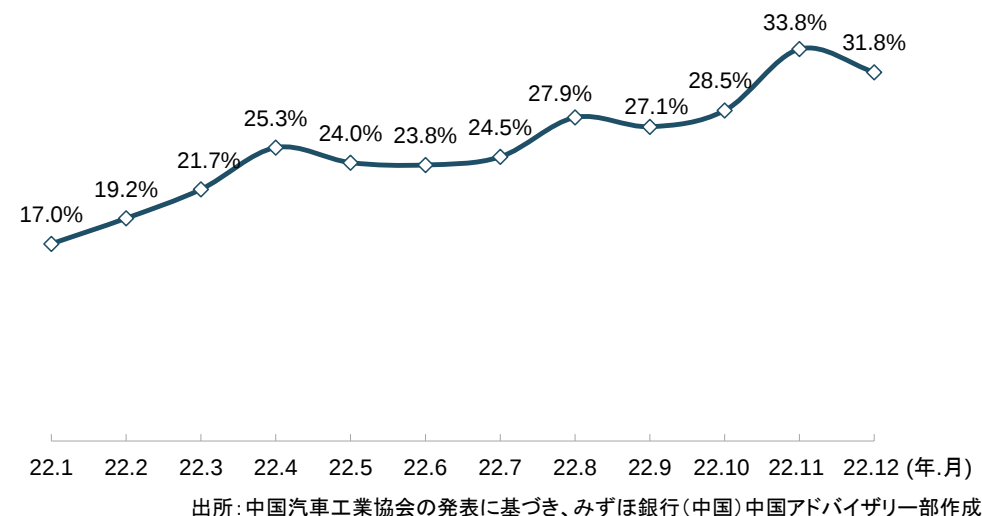
中国NEV月次販売台数(2020-2022)



動力別販売台数構成比推移(2015-2022)



新車販売台数に占めるNEV比率



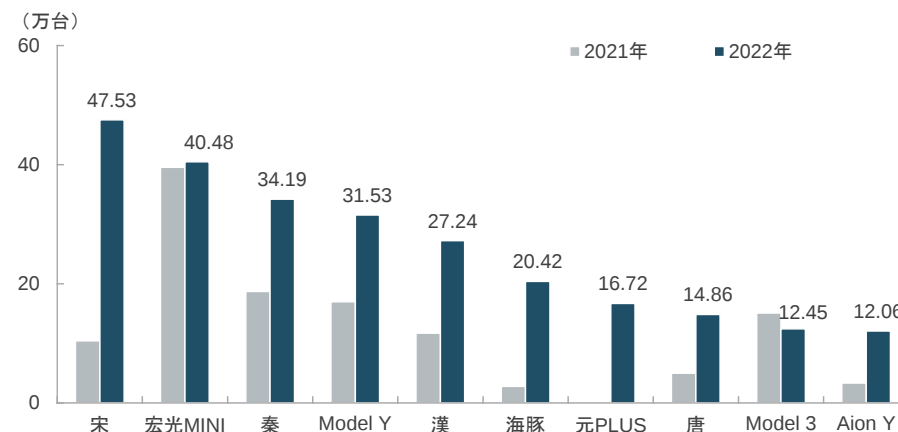
出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.6 NEV②

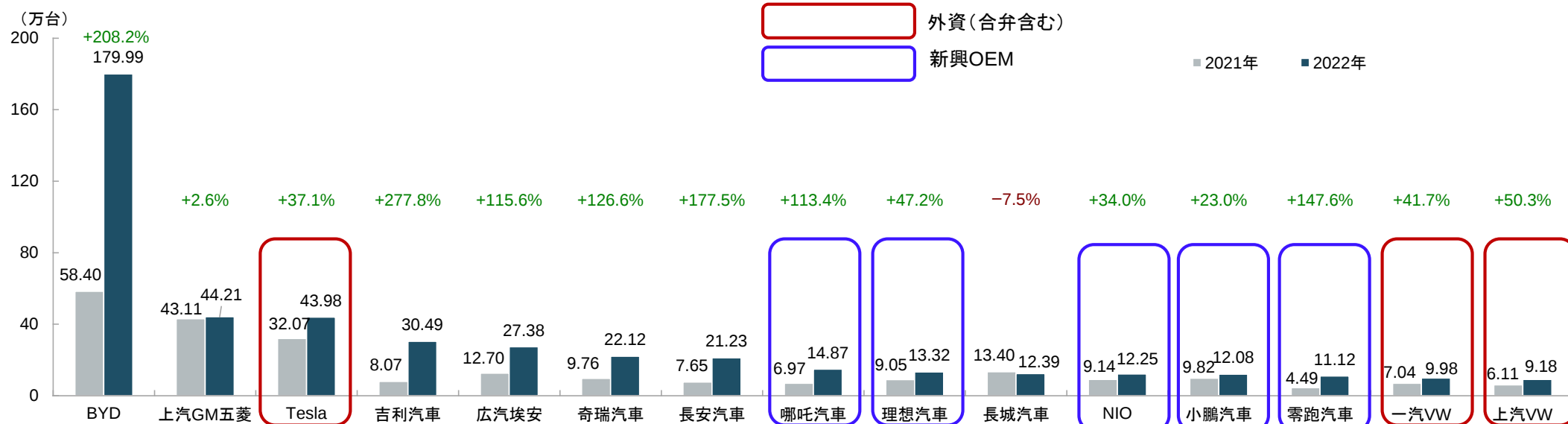
【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- **人気モデル**: 2022年、NEV乗用車販売台数Top10のうちBYDが6モデルを占める。その他五菱宏光MINI、Tesla Model Y、Model 3及び广汽埃安Aion Y。Top10モデルうち8モデルが中国系。
- **Top15社**: 2022年、NEV乗用車メーカー小売販売台数Top15社の合計販売額は464.6万台。うちBYDは前年比208%増の179.99万台。伸び幅が最大なのは吉利汽車で前年比278%増となった。Top15社のうち、外資系はわずか3社(Tesla、一汽VW、上汽VW)。15社のうち前年比減となったのは長城汽車のみ。

NEV乗用車販売台数Top10



NEV乗用車企業小売販売台数Top15



出所: 中国乗用車市場情報联席会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

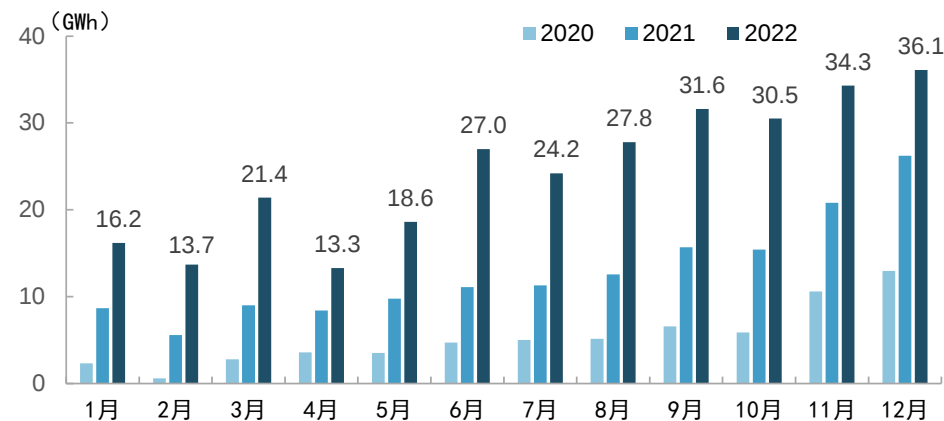
1.6 NEV③

【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

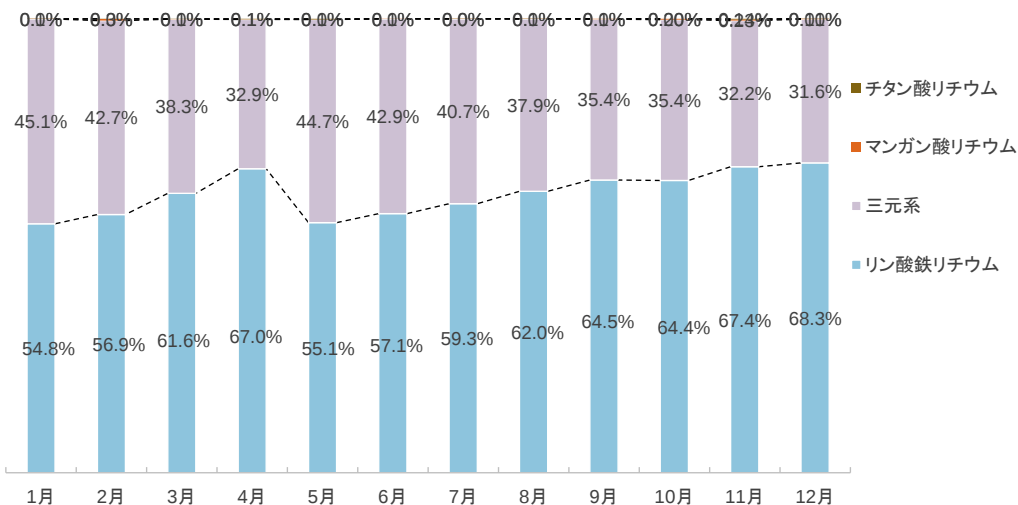
- **動力電池も高成長**: 2022年、中国の動力電池搭載量は前年比90.7%増の294.6GWh。うち、12月単月では前年同月比37.7%増、前月比5.2%増の36.1GWh。2022年の月次搭載量構成比では、リン酸鉄リチウム電池が60%前後の市場シェアで推移。

- ✓ **搭載量企業Top10**: 2022年は計57社の動力電池メーカー製品が搭載された。うちTop10社の搭載容量は279.8GWh、総搭載量CR10は95.0%。CATLの市場シェアは前年比3.9pt縮小の48.2%、NEVが好調なBYDのシェアは23.5%まで拡大。中創新航、欣旺達、億緯鋰能等も市場シェアを伸ばしている。

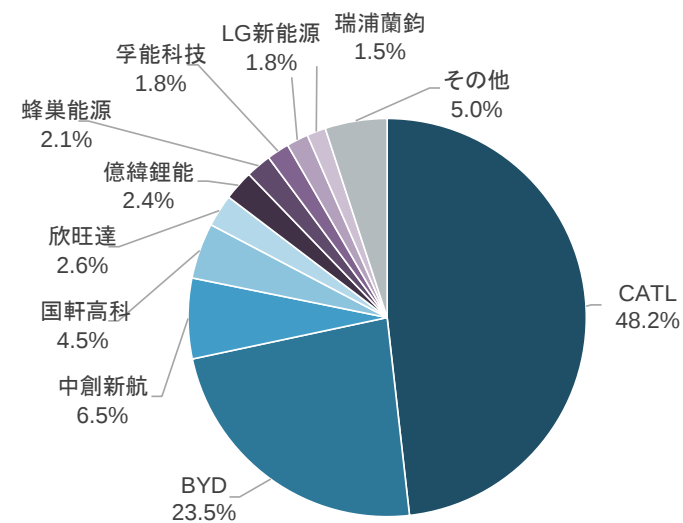
動力電池月次搭載量(2020-2022年)



動力電池搭載量構成比推移(2022)



動力電池搭載量Top10社(2022年)



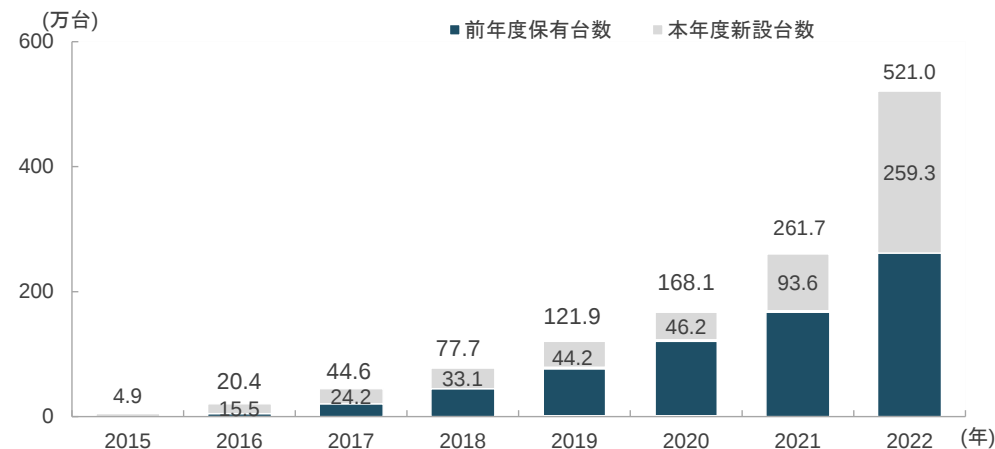
出所: 中国自動車動力電池産業創新聯盟の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザリー部作成

1.6 NEV④

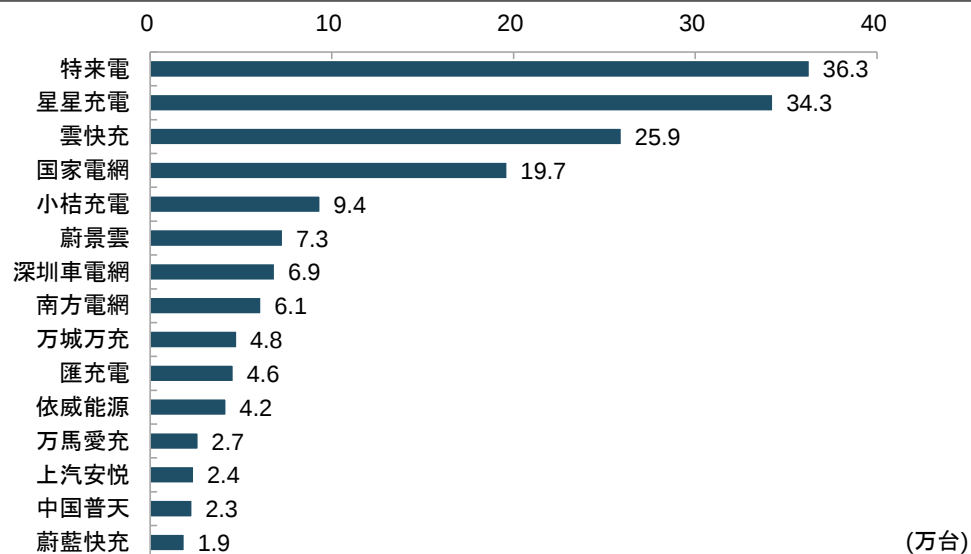
【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- **世界最大の充電網**: 2022年の中国充電インフラ設備新設台数は前年比3.77倍の259.3万台。2022年12月時点での充電インフラ設備保有量は前年比99.1%増の521万台。NEV保有台数1,310万台として計算すると、充電スタンド1台あたりのNEV台数は2.51台。
- **公共充電スタンド**: 2022年12月時点、公共充電スタンド保有台数は179.7万台、うちDC充電スタンド76.1万台、AC充電スタンド103.6万台。公共充電スタンド運営事業者CR15は93.8%、うち特来电と星星充電は34万台以上の充電スタンドを運営、それぞれ19%以上のシェアを有する。
- **電池交換ステーション**: 2022年12月時点、電池交換ステーションは1,973カ所、うちNIOが全体の65.9%となる1,300カ所を運営。

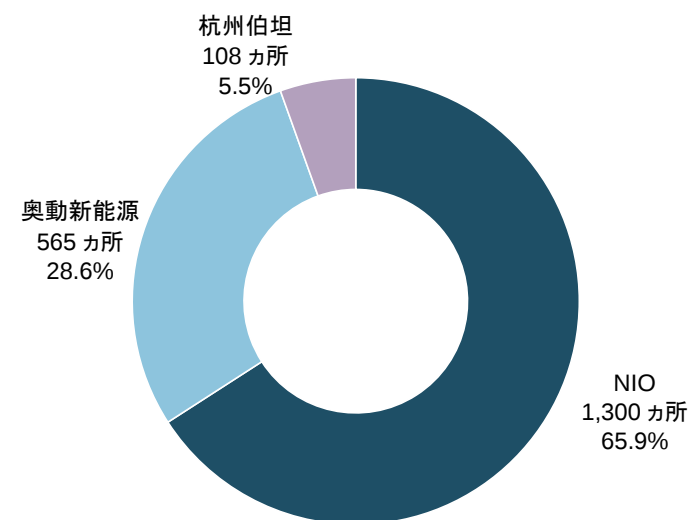
中国充電スタンド保有台数(2015-2022年)



公共充電スタンド運営事業者Top15(2022年12月時点)



電池交換ステーション運営事業者(2022年12月時点)



出所: 中国充電聯盟の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.7 輸出

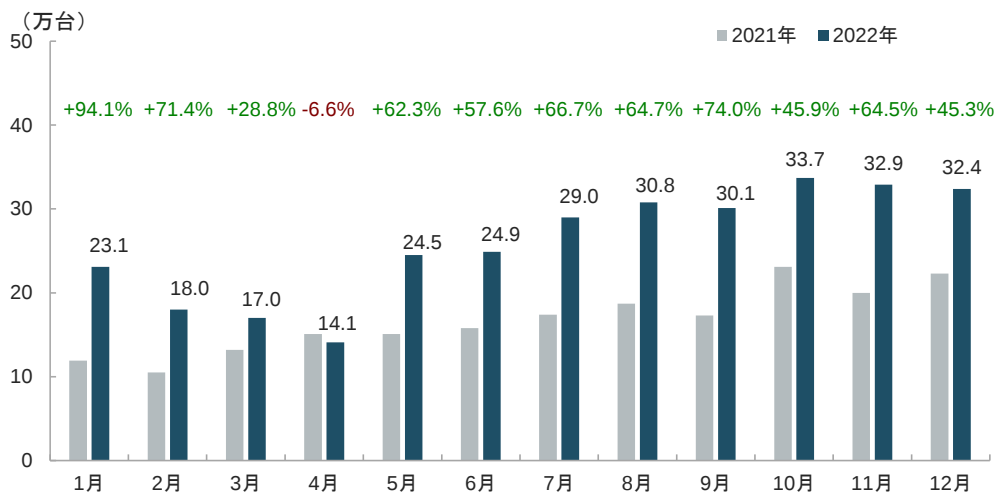
【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- **輸出は増加が続く:** 自動車輸出は飛躍的な成長を見せている。2022年、中国完成車メーカー輸出台数は前年比54.3%増の11万台、うちNEVは同2.2倍の67.9万台。12月単月での輸出台数は前年同月比45.3%増、前月比1.9%減の32.4万台。
- **輸出企業Top10:** 2022年、完成車メーカーTop10の合計輸出台数は総輸出台数の9割を占める279.9万台。うち最大は上汽集団で前年比51.5%増の90.6万台、伸び幅が最大なのは吉利集団で同72.4%増の19.8万台。中国系メーカーは電動化及びスマート化により競争優位性を形成しつつあり、輸出の高成長は続く見通し。

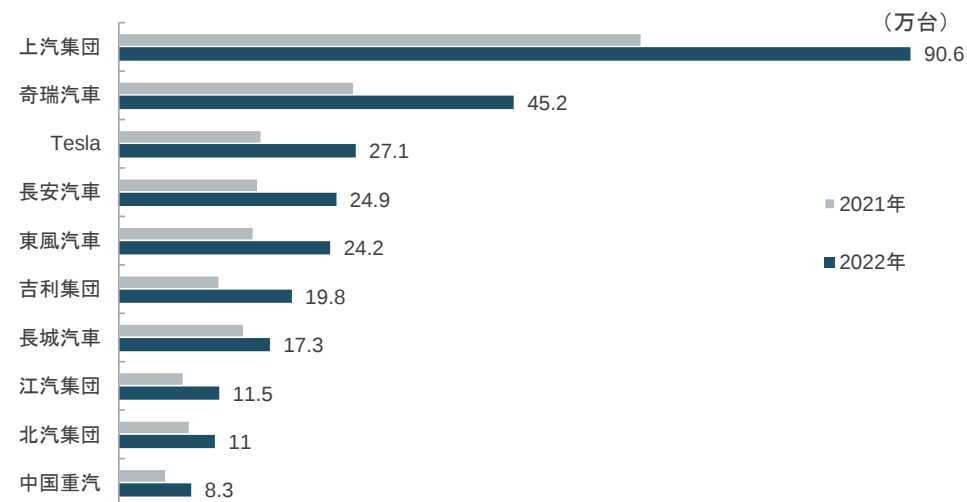
中国自動車輸出台数



中国自動車月次輸出台数(2021-2022年)



輸出台数Top10社(2022年)



出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

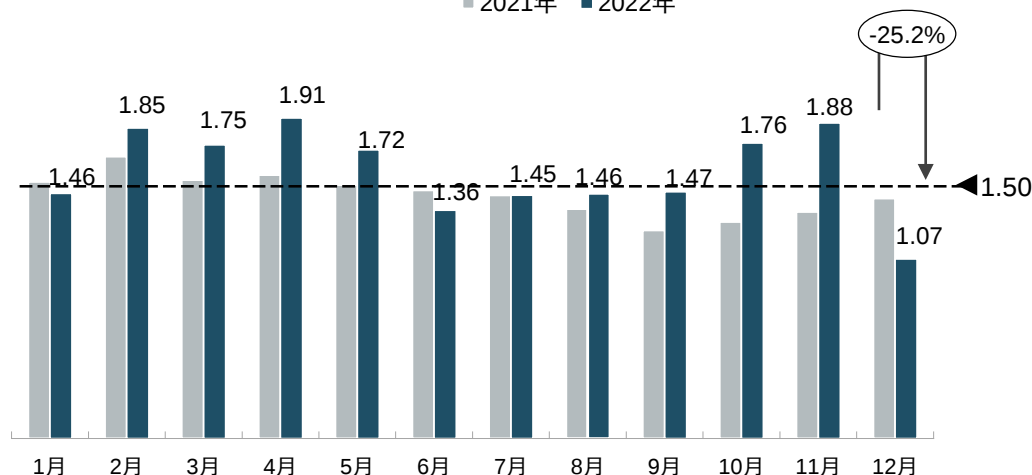
2 在庫

【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- **在庫状況**: 2022年12月、自動車ディーラー総合在庫係数は前年同月比25.2%低下、前月比43.1%低下の1.07、警戒ラインを下回った。年末、Covid-19防疫管理の緩和が発表されたこと、また購入税減免及びNEV補助金政策の終了間際となったことから、12月下旬には販売が急増、ディーラー在庫は急速に消化された。
- **ブランドタイプ別**: 各ブランドとも年末には在庫が大きく減少、高級車及び輸入ブランドの在庫係数は前月比34.8%減の1.03、合弁系は同52.9%減の1.04、中資系は同27.4%減の1.22。
- **2023年1月予測**: 12月末の各種優遇政策終了により、購入需要が前倒しで消化されたことや、新しい刺激策が発表されていないことから、1月は市場全体として低迷、ディーラーはこの時期に在庫補充を行うことから、在庫係数は上昇すると見られる。

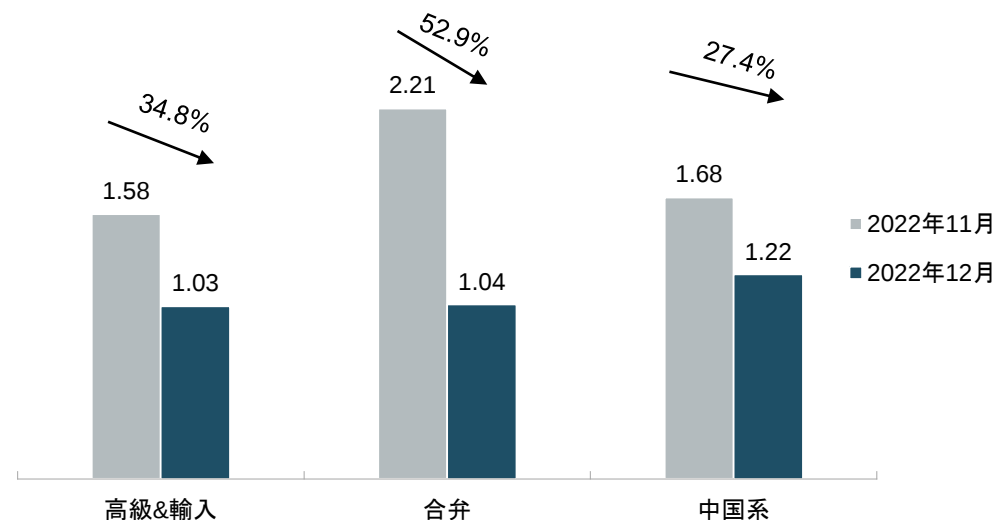
自動車ディーラー在庫係数(2021-2022)

■ 2021年 ■ 2022年



説明: 中国汽流通協会は2010年7月より定期的に自動車ディーラーに対し在庫調査を行い、各メーカーの在庫状況及び業界の総合在庫係数を算出している(在庫係数=期末在庫数/当期販売台数)。在庫係数>1.5が警戒ライン

ブランドタイプ別在庫係数(2022.11~12)



出所: 中国汽流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

3 新発売のモデル(12月11日-1月10日)

【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

No.	発売日	モデル	販売価格 (万元)	タイプ	排気量	航続距離 (BEVモード)	製造	セールスポイント
1	12.12	豪越L	12.79-14.79	SUV	2.0T	-	吉利汽車	• Drive-E 2.0TD動力システム、E02次世代高性能デジタルコックピット
2	12.12	Air ev 晴空	6.78-8.28	セダン	-	300km	上汽GM五菱	• 五菱Ling OS、低転がり抵抗タイヤ、最小回転半径は3.7m
3	12.15	Lincoln Z	25.18-34.08	セダン	2.0T	-	長安Ford	• ボディサイズ4982×1865×1485mm、ダブルモニター、2.0T+8AT
4	12.15	Granvia/格瑞維亜	35.58-41.08	MPV	2.5L	-	一汽トヨタ	• 2+2+3シート、ハイブリッドシステム、連動型トリプルディスプレイ
5	12.17	睿藍9	10.99-12.99	SUV	-	380km、470km	吉利汽車	• ダブルディスプレイ、電池交換型も選べる
6	12.22	覽拓者	9.99-14.99	ピックアップトラック	2.0T	-	長安汽車	• 2.0T発動機+8AT、ガソリン/ディーゼルから選べる、ダブルディスプレイ
7	12.22	卡路里	5.98-7.48	ピックアップトラック	2.0L	-	北汽製造	• ダブルディスプレイ、車体サイズは2種類
8	12.25	NIO EC7	48.80-57.80	SUV	-	490km、635km 940km	江淮汽車 OEM	• NT2.0技術プラットフォーム、全シーン対応のデジタルコックピット PaNoCinema、高効率の電気駆動PF
9	12.30	吉利熊猫MINI	5.58	セダン	-	200km	吉利汽車	• サンルーフ、22kWAC急速充電
10	12.30	山海跑	22.88-30.18	ピックアップトラック	3.0T	-	長城汽車	• 中大型ピックアップトラック、L2.5のスマート運転支援システム、3.0T V6発動機、9ATギアボックス
11	1.1	瑞風E3	18.98-20.88	MPV	-	415km	江淮瑞風	• 車体サイズ5145×1765×1900mm、10.25寸センターコントロールパネルを標準装備
12	1.5	啓運EV	13.58	軽トールワゴン	-	305km	華晨鑫源	• 車体サイズ4200×1680×1930mm、5シート

出所: 新浪自動車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

4 業界動向(12月11日-1月10日)

【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

No.	企業	主な動き
1	東風自動車	・ 12月11日、PSA系自動車金融会社「東風標致雪鉄龍汽車金融有限公司」の名称を「東風汽車金融有限公司」に変更。東風汽車集団は神龍汽車から50%、PSA Finance Netherlandsから25%の持ち分譲渡を受けており、100%子会社化している。
2	広汽集団	・ 12月11日、広汽集団傘下の因湃電池科技有限公司が着工。総投資額109億元、敷地面積約666ム一。2023年10月に完成、2024年3月までには第1期6GWhの量産に入る計画。
3	奇瑞控股 CATL	・ 12月12日、奇瑞控股集团集团有限公司の新株主として寧波梅山保税港区問鼎投資有限公司が約3.73%を出資。寧波梅山保税港区問鼎投資有限公司はCATLの全額出資子会社。
4	広汽トヨタ	・ 12月20日、広州市南沙区のNEV生産能力拡張工事第二期が稼働。第二期の敷地面積は74万㎡、生産能力は20万台/年。
5	Tesla	・ 12月26日、Tesla中国の第1万台目となるスーパーチャージャーが上海東方明珠に設置された。 ・ 1月6日、Teslaは国産モデルを大幅値下げ。Model 3は22.99万元から、Model Yは25.99万元からとした。値下げ幅は2-4.8万元。
6	吉利控股	・ 12月27日、吉利控股傘下の遠程商用車科技公司は2023年にAラウンドの資金調達を行うと発表。 ・ 12月30日、吉利控股傘下の武漢星紀魅族科技有限公司は珠海市魅族科技有限公司の唯一株主となった。
7	上汽享道	・ 12月28日、上汽AI LABが自主開発した自動運転2.0技術を搭載した上汽享道Robotaxiが深圳前海エリアで試験運用開始。
8	上汽GM	・ 12月28日、上汽GM汽車の武漢奧特能スーパーファクトリーが稼働。2021年10月に上海浦東金橋奧特能スーパーファクトリーに続く、上汽GM汽車の電動化アップグレード事業の重要プロジェクトである。
9	百度	・ 12月30日、百度の「夢ト快跑」が北京での全無人運転試験の許可を取得。10台の全無人自動運転車両を投入する。
10	東風日産	・ 12月30日、東風日産VenuciaがNEV戦略を正式始動。今後は、純ICEの開発はもう行わず、毎年2モデル以上のNEVを投入する。
11	一汽紅旗	・ 1月8日、一汽紅旗はNEVグローバル戦略及び新しいNEVブランドとロゴを発表。今後3年で紅旗はスマートNEVを15モデル発表し、2025年には紅旗の販売台数100万台、NEVの販売台数50万台、この期間、年平均成長率138%を目指す。

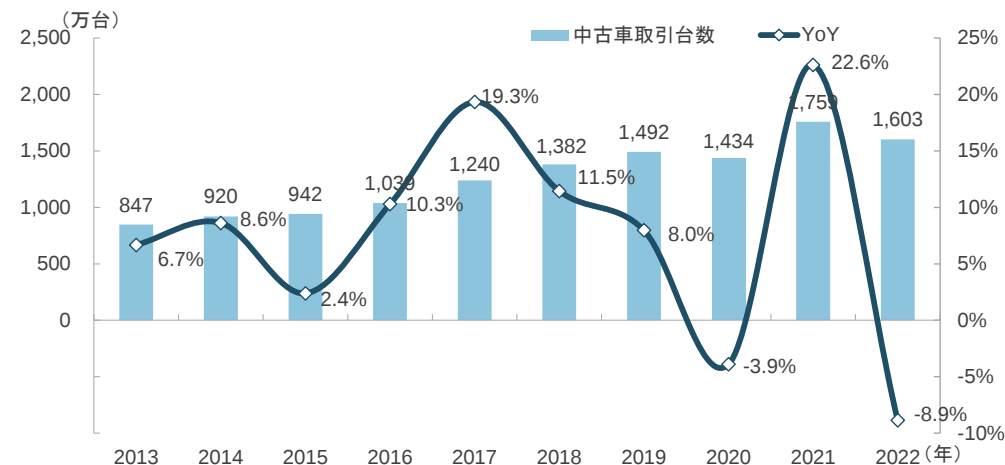
出所: 新浪自動車の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

5 中古車市場

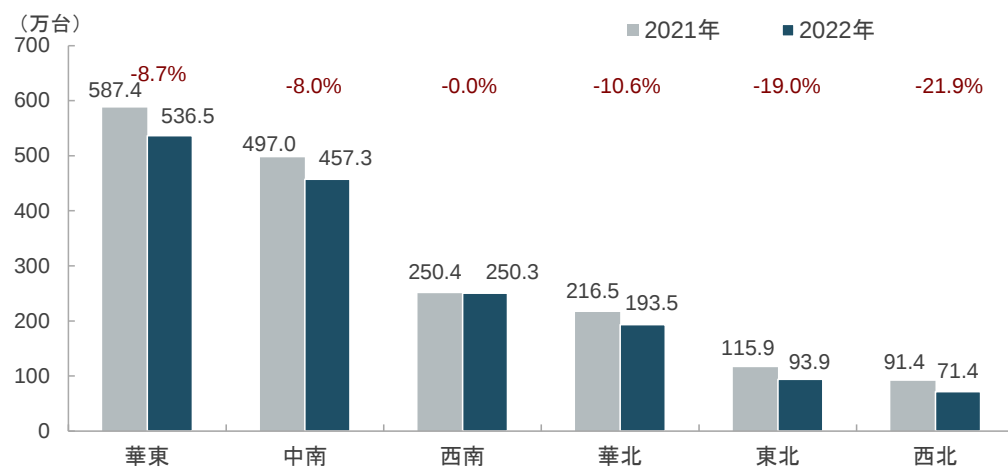
【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- **中古車取引台数**: 2022年の中国中古車累計取引台数は前年比8.86%減の1,602.78万台、取引額は1兆595.91億元。12月単月での取引台数は前年同月比12.47%減の141.64万台。通年ではセダン、MPV、商用車等の取引台数は減少、SUVのみ小幅増となった。
- **エリア別**: 中国6大エリアでは軒並み前年比減、うち、西北、東北、華北は2桁の下げ幅となった。
- **省市間の流通状況**: 12月の転籍率は前月比2.2pt上昇の25.4%とやや回復。2022年通年での転籍台数は前年比17%減の401万台。3年に及んだ防疫管理の終了と各種支援策の下、2023年の中古車市場は高成長が期待される。

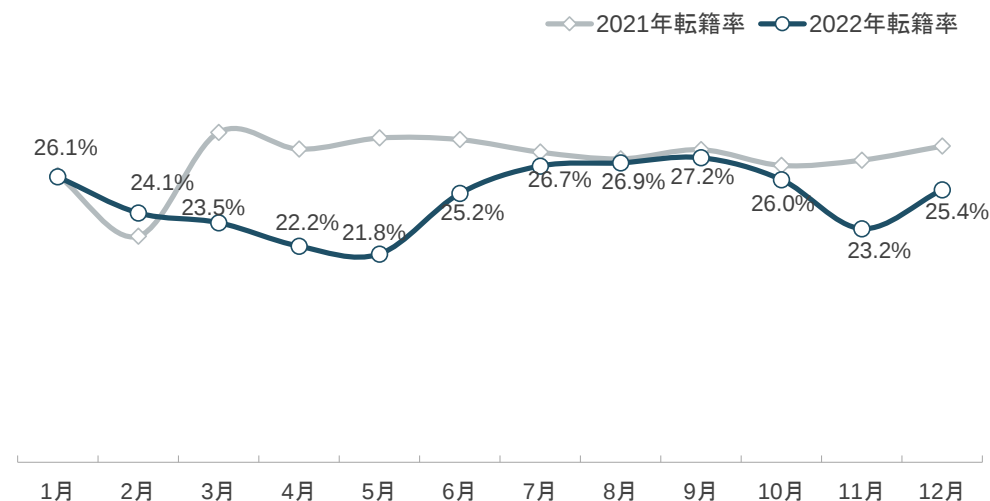
中古車取引台数(2013-2022)



中国6大エリア中古車取引状況



省市間の流通状況



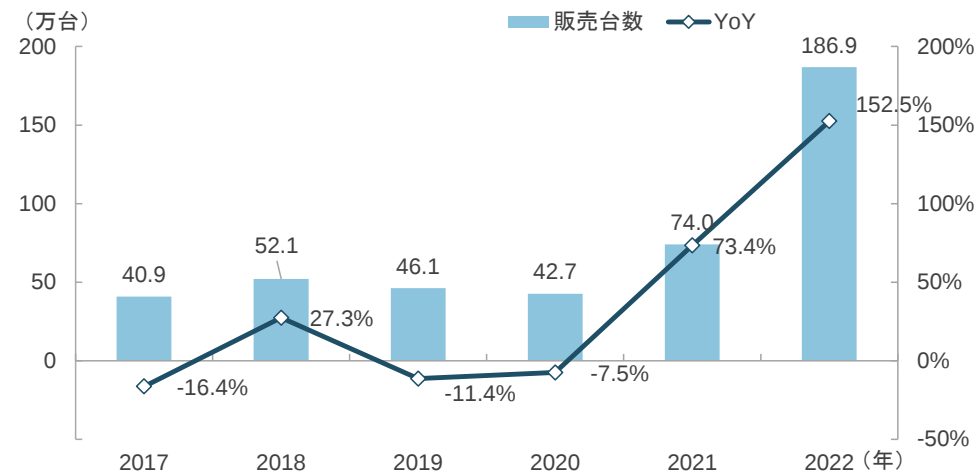
出所: 中国汽流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

6 BYD

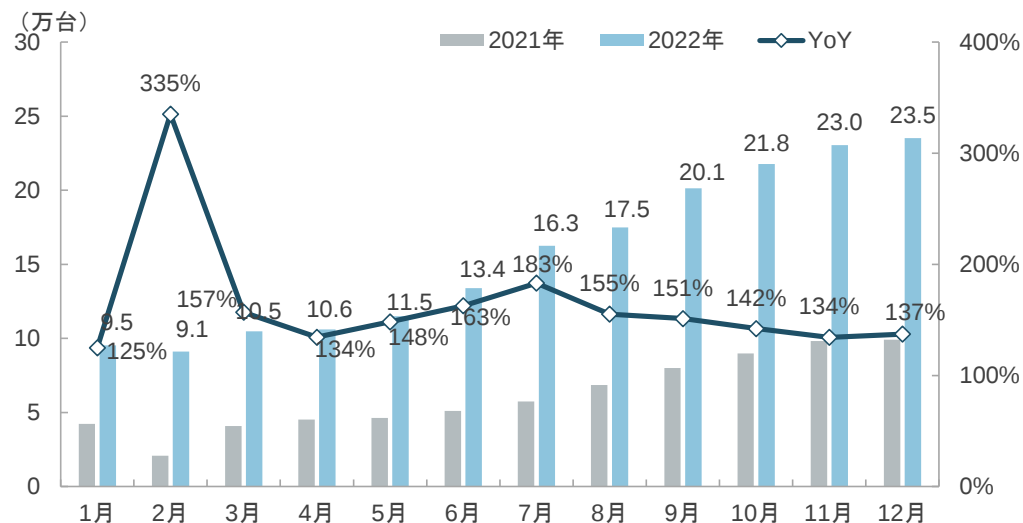
【中国自動車業界レポート(2022年12月)】

- **爆発的な伸び**: 2022年、BYDの販売台数は152.5%増の186.9万台、うちBEVが91.1万台、PHEVが94.6万台ガソリン車の生産を停止して以降、NEV領域の技術力を生かし、月次販売台数を前年同月比倍以上で伸ばし続けている。2022年12月の販売台数は同137.3%増の23.5万台。
- **売上状況**: 2022年1-9月のBYD(002594.SZ)の売上高は前年同期比84.4%増の2,676.9億元、純利益は同281.1%増の93.1億元、うち自動車関連事業による売上高が7割以上を占める。また、R&Dを強化、2022年1-9月のR&D費用は同107.69%増の108.70億元に達している。

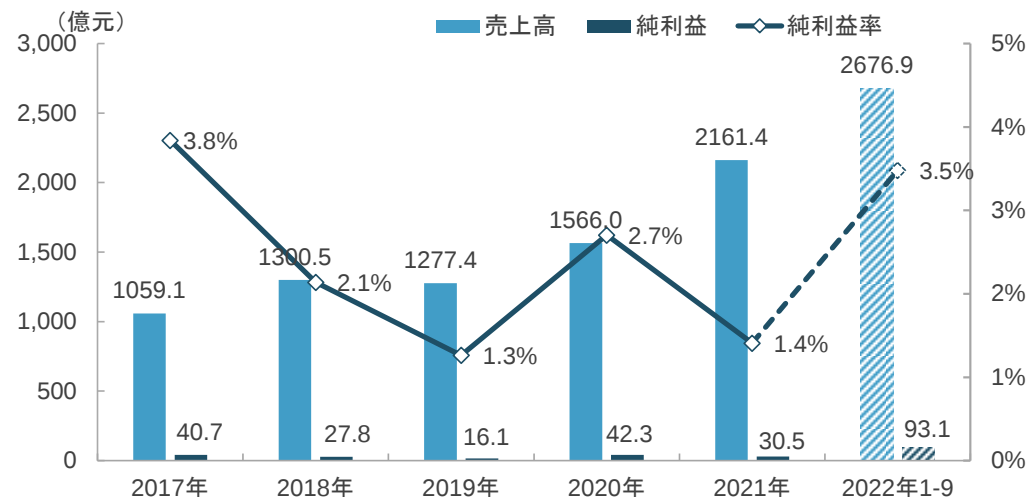
BYD販売台数



BYD自動車月度販売台数(2021-2022年)



BYD業績推移



出所: BYD定期報告に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

みずほ銀行(中国) 中国アドバイザー一部

張 龍 (中) long.zhang@mizuho-cb.com

藤原詩帆 (日) shiho.fujiwara@mizuho-cb.com

石田方治 (中/日) masashi.ishida@mizuho-cb.com

Copyright © 2023 Mizuho Bank (China) , Ltd.

1. 本資料は法律上・会計上・税務上の助言を目的とするものではありません。本資料中に記載された諸条件及び分析は仮定に基づいており、情報及び分析結果の確実性或いは完全性を表明するものではありません。また、当行との取引においてご開示頂く情報、鑑定評価、各種機関の見解、また政策法規・金融環境等の変化によっては、本資料に記載の仮定やスキームと乖離が生じ、提示した効果が得られない可能性があります。本資料については、そのリスクを充分ご理解の上、貴社ご自身の判断によりご利用下さい。当行は本資料に起因して発生したいかなる損害について、その内容如何にかかわらず、一切責任を負いません。
2. 本資料中に記載された企業情報は、公開情報及び第三者機関から取得した情報に基づいて作成しており、当行が顧客との取引において知りうる機密事項や非公開情報等は一切含まれておりません。
3. 本資料中に記載された情報は、当行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。また、引用された出所元の資料及び文言に含まれる、または解釈される可能性のある意見や論評は、記載された出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。
4. 本資料の著作権は原則として当行に帰属します。本資料については貴社内部の利用に限定され、いかなる目的であれ、いかなる方法においても、無断で本資料の一部または全てを、第三者へ開示、または複写・複製・引用・転載・翻訳・貸与する等の行為について固く禁じます。